

# 隅 藏 康 一 准教授

---

専門分野：知的財産政策、科学技術イノベーション政策

学 位：博士（工学）（東京大学）

略 歴：1993年東京大学理学部卒、95年同大学院理学系研究科生物化学専攻修士課程修了、95年同大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程進学、98年博士（工学）学位取得、同年東京大学先端科学技術研究センター客員助手、99年同センター助手、2001年本学助教授、2007年本学准教授。2012年6月より文部科学省科学技術政策研究所（2013年7月より文部科学省科学技術・学術政策研究所に名称変更）第2研究グループ総括主任研究官、本学連携准教授。2014年6月より本学准教授、文部科学省科学技術・学術政策研究所第2研究グループ客員総括主任研究官（現在に至る）。

## 1. 業 績 (A)

### (1) 雑誌論文

#### ① 単 著

\* 隅藏康一「ヒトゲノム・遺伝子に関する特許権と公共性のバランス」『日本知財学会誌』、10巻、1号、13-24頁（2013年）

#### ② 共 著

\* Thomas Gurney, Edwin Horlings, Peter Van Den Besselaar, Koichi Sumikura, Antoine Schoen, Patricia Laurens and Daniel Pardo, “Analysing knowledge capture mechanisms: Method and a stylised bioventure case,” *Journal of Informetrics*, vol.8, 259-272 (2014)

### (2) 図 書 (共著)

\* Shunsuke Managi, Edamura Kazuma, Naomi Fukuzawa, Yoko Furusawa and Koichi Sumikura, “How enterprise strategies are related to innovation and productivity change: An empirical study of Japanese manufacturing firms,” NISTEP DISCUSSION PAPER No.102 (2013)

\* 文部科学省科学技術・学術政策研究所 第2研究グループ（隅藏康一・古澤陽子・枝村一磨・福澤尚美）『民間企業の研究活動に関する調査報告 2012』、NISTEP REPORT No.155（2013年）

### (3) 学会発表

\* Hiromi Saito and Koichi Sumikura, “An effect of collaborative research with academia: focused on the pharmaceutical industry,” 9th World Congress on International Health Economics Association, Sydney, July 8th, 2013.（口頭発表は齋藤による）

\* 隅藏康一「日本のアカデミア発の創薬は可能か?」、日本機械学会 2013年度年次大会、岡山大学、2013年9月9日

\* 齋藤裕美・隅藏康一「産学共同研究と企業パフォーマンスの実証研究～医薬品産業を対象に」、日本機械学会 2013年度年次大会、岡山大学、2013年9月9日（口頭発表は齋藤による）

\* 枝村一磨・隅藏康一・福澤尚美・古澤陽子「民間企業における研究開発活動の実態：「民間企業の研究活動に関する調査 2012」より」、研究・技術計画学会第28回年次学術大会、政策研究大学院大学、2013年11月2日（口頭発表は枝村による）

\* 隅藏康一・枝村一磨・福澤尚美・古澤陽子「企業活動においてイノベーションを実現するための諸要素」、研究・技術計画学会第28回年次学術大会、政策研究大学院大学、

2013年11月3日（口頭発表は隅藏による）

- \* 齋藤裕美・隅藏康一「企業の側から見た産学共同研究～全業種比較」、研究・技術計画学会第28回年次学術大会、政策研究大学院大学、2013年11月3日（口頭発表は隅藏による）
- \* 枝村一磨・隅藏康一・福澤尚美・古澤陽子「企業の知的財産活動に関する調査 -平成24年度民間企業の研究活動に関する調査より-」、日本知財学会第11回年次学術研究発表会、青山学院大学、2013年11月30日（口頭発表は枝村による）
- \* 福澤尚美・隅藏康一・枝村一磨・古澤陽子「「民間企業の研究活動に関する調査報告2012」からみる他組織との連携状況」、日本知財学会第11回年次学術研究発表会、青山学院大学、2013年11月30日（口頭発表は福澤による）
- \* 隅藏康一「新規医薬品創出への大学基礎研究の貢献：事例に基づく考察」、日本知財学会第11回年次学術研究発表会、青山学院大学、2013年12月1日
- \* 齋藤裕美・隅藏康一「産学共同研究における相手先の多様性と企業パフォーマンス～医薬品産業を対象に」、日本知財学会第11回年次学術研究発表会、青山学院大学、2013年12月1日（口頭発表は齋藤による）
- \* Thomas Gurney, Antoine Schoen, Edwin Horlings, Koichi Sumikura, Patricia Laurens, Peter Van Den Besselaar and Daniel Pardo, “Knowledge Capture Mechanisms in Bioventure Corporations: A Case Study,” 14th International Society of Scientometrics and Informetrics Conference, Vienna, July 17th, 2013.（口頭発表はGurneyによる）
- \* Koichi Sumikura “Introduction: the studies on the impact of academic knowledge in innovation system,” Symposium “Making the Best Use of Academic Knowledge in Innovation System,” in AAAS 2014 Annual Meeting, Chicago, February 15th, 2014.

## 2. 業績(B)

### (1) 書評・解説等

- \* 隅藏康一「遺伝子特許の話題」『SRL宝函』、34巻、4号、52-54頁（2014年）

### (2) その他

- \* 隅藏康一「日本のアカデミア発の創薬は可能か？」『日本機械学会2013年度年次大会講演論文集』、CD-ROM中5頁（2013年）
- \* 齋藤裕美・隅藏康一「産学共同研究と企業パフォーマンスの実証研究～医薬品産業を対象に」『日本機械学会2013年度年次大会講演論文集』、CD-ROM中5頁（2013年）
- \* 枝村一磨・隅藏康一・福澤尚美・古澤陽子「民間企業における研究開発活動の実態：「民間企業の研究活動に関する調査2012」より」『研究・技術計画学会年次学術大会要旨集』28巻、4-7頁（2013年）
- \* 隅藏康一・枝村一磨・福澤尚美・古澤陽子「企業活動においてイノベーションを実現するための諸要素」『研究・技術計画学会年次学術大会要旨集』28巻、992-997頁（2013年）
- \* 齋藤裕美・隅藏康一「企業の側から見た産学共同研究～全業種比較」『研究・技術計画学会年次学術大会要旨集』28巻、678-682頁（2013年）
- \* 枝村一磨・隅藏康一・福澤尚美・古澤陽子「企業の知的財産活動に関する調査 -平成24年度民間企業の研究活動に関する調査より-」『日本知財学会第11回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM中4頁（2013年）

- \* 福澤尚美・隅藏康一・枝村一磨・古澤陽子「「民間企業の研究活動に関する調査報告2012」からみる他組織との連携状況」『日本知財学会第11回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM中4頁（2013年）
- \* 隅藏康一「新規医薬品創出への大学基礎研究の貢献：事例に基づく考察」『日本知財学会第11回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM中4頁（2013年）
- \* 齋藤裕美・隅藏康一「産学共同研究における相手先の多様性と企業パフォーマンス～医薬品産業を対象に」『日本知財学会第11回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM中4頁（2013年）
- \* 隅藏康一「特許行政における政策とITの共進化プロセス」『平成25年度文部科学省委託調査研究「科学技術イノベーション政策における『政策のための科学』の推進に向けた試行的実践」報告書』（政策研究大学院大学）484-491頁（2014年）

### 3. 教育

#### (1) 講義

- \* Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation / 高等教育政策・産学連携政策」（秋学期）
- \* 「技術革新と社会変貌」、「科学技術イノベーション政策オープンセミナー」の企画調整を担当、講義の一部を担当
- \* 科学技術イノベーション政策プログラムのリサーチセミナーを他教員と共同で担当

#### (2) 論文指導

- \* 博士課程1名（科学技術イノベーション政策プログラム、主指導）

#### (3) その他

- \* 客員研究員 3名の受け入れ

### 4. 管理・運営への関与

#### (1) 委員会

- \* 博士課程 科学技術イノベーション政策プログラム・コミティー
- \* 修士課程 科学技術イノベーション政策プログラム・コミティー
- \* 図書館運営委員会

#### (2) その他

- \* 政策研究センターリサーチプロジェクト：  
エビデンスに基づくライフ・イノベーション政策の構築プロジェクト 研究代表者
- \* 政策研究センター学術会議支援事業：  
産学連携人材の育成に関する研究会 事業代表者
- \* 文部科学省国立大学強化推進事業：  
アカデミアの戦略的ガバナンス研究プロジェクト メンバー
- \* GRIPS/NISTEP セミナーを実施：2013年5月23日、6月27日、10月10日、11月18日、2014年1月23日、2月27日

### 5. 社会的貢献（A）

#### (1) 他大学・研究所等における活動

##### ① 非常勤講師

- \* 東京理科大学 総合科学技術経営研究科 知的財産戦略専攻 知財学特論A「バイオ特

許戦略」(前・後期に各2単位)

- \* 東京大学大学院 総合文化研究科 統合自然科学科 「知財・技術経営論」(2単位)
- \* 早稲田大学理工学部・大学院理工学術院 「知的所有権特論」(1単位)
- \* 東京大学 ライフイノベーションリーディング大学院 ライフイノベーションリーダー論の一部として、「ラボラトリーマネジメント、知的財産」の講義を実施
- \* 大阪工業大学大学院 知的財産研究科 「現代知的財産制度特論」の一部として、「バイオテクノロジーと特許の課題」の講義を実施
- \* 総合研究大学院大学 「科学技術倫理と知的財産権—学術研究の適切なすすめ方②応用編」の一部として、「生命倫理と知的財産権」の講義を実施
- \* 東京工業大学 工学部 「総合科目 A 科学者とは」の一部として、「知的財産権をめぐる問題」の講義を実施

② 委員会等

- \* 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 学術研究のためのABSベストプラクティス検討勉強会 委員

③ その他

- \* 広島大学 高等教育研究開発センター 客員研究員
- \* 厚生労働科学研究費補助金 創薬基盤推進研究事業「創薬支援のためのバイオリソースデータベースのネットワーク整備と政策・倫理課題に関する研究」(研究代表者:増井徹 独立行政法人医薬基盤研究所 難病・疾患資源研究部 部長) 研究分担者
- \* 厚生労働科学研究費補助金 再生医療実用化研究事業「再生医療の社会受容にむけた医事法・生命倫理学の融合的研究」(研究代表者:町野朔 上智大学 教授) 研究協力者
- \* 厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「追跡終了後コホート研究を用いた共通化データベース基盤整備とその活用に関する研究」(研究代表者:玉腰暁子 北海道大学医学研究科 教授) 研究協力者

(2) 財団法人等における活動

① 役員, 委員会

- \* 知的財産教育協会 知的財産管理技能検定 技能検定委員
- \* DIPEX-Japan 情報倫理委員会 委員
- \* 公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金 運営委員会 委員
- \* 公益財団法人東京都中小企業振興公社 平成25年度グローバルニッチトップ助成事業 審査会委員

② その他

- \* 文部科学省 科学技術・学術政策研究所・科学技術動向調査センター 専門調査員
- \* 特定非営利活動法人21世紀構想研究会 メンバー(知的財産委員会 委員)
- \* 一般財団法人 比較法研究センター 医療と法ネットワーク 賛同者・会員

(3) 学会等における活動

- \* 研究・技術計画学会 事務局担当理事;第28回シンポジウム(FMES共催)実行委員;第28回年次学術大会実行委員
- \* 日本知財学会 理事;ライフサイエンス分科会担当理事;知財学ゼミナール担当理事;日本知財学会10周年記念事業 知財学ゼミナール書籍 編集委員長
- \* 日本機械学会 法工学専門会議 運営委員会 運営委員ならびに幹事
- \* 日本機械学会 NEDO委託事業「法と経済で読み解く技術のリスクと安全」実行委員会

委員

- \* 日本機械学会、東日本大震災調査・提言分科会 WG7（地震、原発事故等に対する危機管理）委員；東日本大震災合同調査報告書編集委員会『東日本大震災合同調査報告 機械編』（2013年）編集協力者
  - \* PICMET 2014 (Kanazawa) Local Arrangement Committee, Member
  - \* Asian Research Policy, Editorial Board Member
- (4) 審議会等における活動
- \* 厚生労働科学研究費補助金 難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業（再生医療関係研究分野）ELSI委員会 委員
  - \* 農林水産技術会議 平成25年度委託プロジェクト研究「ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト」運営委員会 委員
  - \* 裁判所 専門委員（東京高等裁判所、東京地方裁判所、大阪地方裁判所所属）

## 6. 社会的貢献（B）

- (1) ジャーナリズムでの発言（活字メディア）
- \* “Japan aims high for growth,” Nature Vol.497 pp.548 (30 May 2013) にて、日本のイノベーション政策についてコメント
  - \* 2013年6月15日 日本経済新聞朝刊2面 「遺伝子特許 米最高裁認めず」にて、製薬企業に対する判決の影響についてコメント
  - \* 2014年2月14日 読売新聞 科学研究と特許の関係についてコメント
- (2) 講演会，座談会，会議出席
- \* 講演：NISTEP セミナー、「民間企業の研究活動に関する調査報告2012」、2013年7月16日
  - \* 司会：研究・技術計画学会女性エンジニア活生分科会/産業技術総合研究所 シンポジウム「世界で活躍できる女性研究者エンジニア」、2013年7月21日
  - \* 講演：第6回再生医療と法研究会（上智大学）、「知的財産権と公共性・生命倫理」、2013年8月1日
  - \* 講演：衆議院経済産業調査室、「知的財産とイノベーションをめぐる最近の動向」、2013年9月4日
  - \* 講演：日本機械学会年次大会ワークショップ「イノベーションと知的財産」、「イノベーションと知的財産概論」、2013年9月9日
  - \* 講演：JST-CRDS フェロー戦略会議、「2012年度 民間企業の研究活動に関する調査調査結果の概要」、2013年9月17日
  - \* 講演：ナレッジプール研究会、「日本の民間企業の研究開発・イノベーション活動の実態」、2013年10月8日
  - \* 座長：研究・技術計画学会第28回年次学術大会、「技術経営（戦略・R&D マネジメント）」セッション、2013年11月3日
  - \* 講演：内外科学技術動向報告会（内閣府）、「民間企業の研究活動に関する調査2012」、2013年11月5日
  - \* 講演：第10回DIA日本年会「コンパニオン診断薬と新薬の同時開発に向けた現状と展望」セッション、「遺伝子特許をめぐる動向とコンパニオン診断薬の開発への影響」、2013年11月7日。『臨床医薬』30巻475-481頁（2014年）に講演録

- \* 講演：関西ネットワークシステム、「知的財産マネジメントと科学技術イノベーション政策のトピックス」、2013年11月13日
- \* 講演：行政書士の方々の勉強会、「遺伝子特許の現状と今後」、2013年11月16日
- \* 講演：日本人類遺伝学会ランチョンセミナー、「遺伝子特許の現状と今後」、2013年11月21日
- \* 講演：日本知財学会第11回年次学術研究発表会 テーマセッション「ライフサイエンス分野のグローバル知財の動向」、「これからのバイオサイエンス知財の方向性」、2013年11月30日
- \* モデレータ：日本知財学会第11回年次学術研究発表会 テーマセッション「知的財産イノベーション研究の活性化に向けて」、2013年11月30日
- \* 報告：日本知財学会第11回年次学術研究発表会 統括セッション、「知的財産イノベーション研究の活性化に向けて」セッションからの提言」、2013年12月1日
- \* 講演：政策研レビューセミナー、「日本企業の研究活動とその成果～民間企業の研究活動に関する調査2012から～」、2013年12月12日
- \* 講演：特許庁昼休みセミナー、「大学におけるライフサイエンス基礎研究の、企業のイノベーションに対する貢献度」、2014年1月20日
- \* 講演：厚生労働科学研究費補助金（創薬基盤推進研究事業）「創薬支援のためのバイオリソースデータベースのネットワーク整備と政策・倫理課題に関する研究」班会議、「ヒト由来試料と情報の諸権利等の問題について」、2014年1月22日
- \* 講演：独立行政法人日本学術振興会 産学協力研究委員会 ゲノムテクノロジー第164委員会 第43回研究会、「遺伝子特許の現状と今後」、2014年1月29日
- \* 講演：厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）「追跡終了後コホート研究に関する研究」班会議、「ヒト由来データの活用と知的財産・法的課題」、2014年1月30日
- \* 話題提供：厚生労働科学研究費補助金（創薬基盤推進研究事業）「創薬支援のためのバイオリソースデータベースのネットワーク整備と政策・倫理課題に関する研究」ワークショップ「わたしのからだはだれのもの?」、2014年2月12日
- \* Organizer: Symposium “Making the Best Use of Academic Knowledge in Innovation System,” AAAS 2014 Annual Meeting, Chicago, February 15th, 2014.
- \* モデレータ：政策研究大学院大学、文部科学省科学技術・学術政策研究所、一般財団法人日本規格協会共催セミナー「新技術分野における標準化」、2014年2月25日
- \* 総合オーガナイザーとして主宰：知的財産マネジメント研究会（Smips）、2013年4月13日、5月11日、6月8日、7月13日、9月7日（「第13回知的財産・産学連携ワークショップ」として開催）、10月12日、11月9日、12月14日、2014年1月11日、2月8日、3月8日